

多世代交流の拠点となるか

一般会計予算52億9300万円



耐震補強及び改修工事をする多世代活動交流センター

第1回定例会

平成30年第1回定例会が、3月6日から19日までの14日間にわたり開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの20件、埼玉県市町村総合事務組合に関するもの2件、指定管理者の指定に関するもの1件、平成29年度一般会計及び特別会計等補正予算の議定に関するもの8件、平成30年度一般会計及び特別会計等予算の議定に関するもの8件、その他3件の42議案で、全議案とも可決されました。議員発議が2件提出され、可決されました。

平成30年度 一般会計予算

歳入

- 問** 30年度の予算編成で一般財源枠配分方式とは。
- 答** 各課に財源枠を事前に提示し、それに基づいて予算要求をするもの。
- 問** 30年度の町債が、9億円以上と前年度より大幅に増えているが。
- 答** 北部地域活性化事業と、ニュータウンの整備事業が町の最重要事業。北部事業は地元対策費も見込んでいるが、先行して実施している。
- 問** 学校施設環境改善交付金548万円の用途は。
- 答** 今宿小の給食配膳用エレベーターが老朽化で改修。補助率は3分の1。

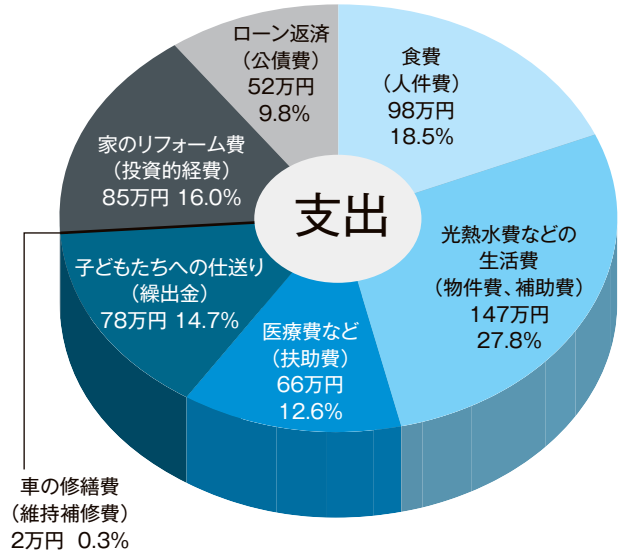
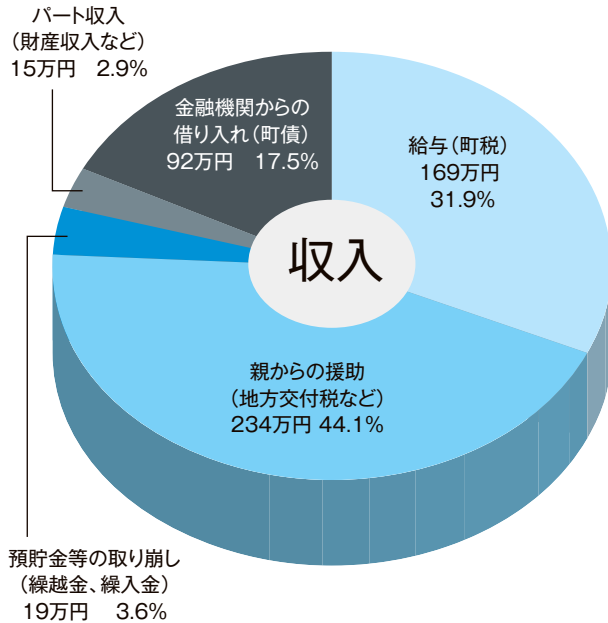
歳出

- 問** 北部地域活性化推進費の歳出が非常に多く、町債を押し上げている。30年度に実施しなくてもよい事業があるのでは。
- 答** 活性化取組み方針に基づいて事業計画を立て、実施するものであり、活性化委員会等と協議をしながら丁寧に進めていく。
- 問** 町道1号線の整備で安全確保以外に経済的波及効果は見込めるか。
- 答** 延伸した先に子育て支援住宅の計画など、活性化に向けて取り組む。
- 多世代活動交流センター**
- 問** 耐震改修工事で3億6540万円、総額について、なぜ今まで示さなかったのか。議会軽視ではないか。
- 上熊井農産物直売所**
- 問** コンセプトが明確でない形で建設を進めても、運営事業者の選定や、継続的な展望が見えない。
- 答** 設計額見直し等の検討のなか、額が確定しない部分もあり、説明が遅れたことをお詫びする。
- 問** 工事を来年度に先送りできないのか。
- 答** すでに1年延期しており、歩道工事については31年度の実施予定だ。
- 自治協力団体**
- 問** 区長等の報酬総額が増えているが。
- 答** 10月に交付金の改正をするので11団体を計上した。
- 問** 現在のNT自治協力団体の立上り状況は。
- 答** NTの住民の方々が自主的に検討をしている。



もしも町の年間収支が 529万円の家計だったら…

鳩山町の一般会計の全体額を、分かりやすくするため、
1/1000〔1千万円を1万円〕年間529万円の家計簿にしてみました。



- 答** 運営検討委員会の答申では、指定管理者制度が提案されている。持続可能な運営について、活性化委員会や議会にも協議・検討をお願いする。
- 町営路線バス運行経費**
問 運営収入の見込み額より実際の収入が低いと町の負担が危惧されるが。
答 定期券の導入や、バス停の追加により、徐々に向上している。越生駅東口まで延伸すれば、利便性が向上する。
- コミュニティ・マルシェ 管理運営委託料**
問 事業運営がなかなか軌道に乗らず、管理者も大変だと察する。キッチン整備工事の進捗は。
答 3月完了予定だったが、若干遅れている。
- 学童保育業務委託料**
問 委託料のなかに修繕費は含まれるか。
答 おしやもじ山クラブの屋根修繕工事を含む。
- 総合福祉センター管理料**
問 入浴施設の休止で600万円の減額だが、今後、再開の見通しは。
答 公共施設の管理運営

- 見直しのなかで検討する。
- アライクマ分析調査業務**
問 被害が多いと聞くが、取組みについて伺う。
答 捕獲した個体の分析をして、県に報告書を提出している。29年度2月までの捕獲数は173頭。
- 家庭教育学級補助金廃止**
問 PTA活動の活性化のためにも、再計上を。
答 今年度は町Pの連絡協議会からの対応をお願いしている。今後についてもP連と協議していく。
- 〈反対討論〉**
公共事業が多すぎる。特に北部地域事業の繰り延べ等地元と話し合うべき。北部バスの需要も少ない。敬老祝いの廃止は、執行努力が足りず、入浴施設も残すべき。米づくりが持続可能になるような支援をすべき。
(根岸)

- ないか。教育費の減額は将来の投資を減らすことにつながる。がん検診の有料化、入浴施設の休止いずれも町民サービスの低下だ。
(松浪)
- 〈賛成討論〉**
多世代活動交流センター整備計画は、町の総合計画等、中長期的な視点で継続的に実施してきている事業とは理解できるが、厳しい財政のなか、少しでも費用軽減を検討して進めていただくことを強くお願いする。執行部が一丸となり、各課の予算執行に期待する。
(石井徹)
- 町の大変厳しい財政状況のなか、苦勞して予算編成されたことと察する。交付金事業などの公共工事が増え、福祉・教育に負担がかかっている事を懸念する。また、議会に情報開示するのが遅すぎる面が多々あった。今後は町民無視・議会軽視とならぬよう強く要望する。
(大賀)

厳しい財政、住民へ説明を

町長等の給料 減額支給

平成30年度も1年間、町長・副町長・教育長は総額で272万円減給

問 減額の背景は。
答 厳しい財政状況だからである。

問 住民のみなさんの納得を得て、予算を決めるべきではないか。
答 高齢化による費用増大と町税の大幅な落ち込みからである。

問 町長が30%削減のところもあるが。
答 3役で十分相談した 것이다。

敬老祝い金が廃止

88歳と99歳の高齢者への「敬老の意」を表す祝いが全廃になりました。

問 減額を検討したか。
答 後期高齢者は段階的

に増える見込みだ。健康寿命の延伸と介護予防に努めたい。

問 財政が厳しいというが、公共事業を少し減らしたらよいのではないか。
答 国からの支給を図り、一般財源を抑える方向である。

総合福祉センターのお風呂が4月から休止

問 町社協への指定が1年間だが。
答 入浴施設も含め、利用形態や管理運営を見直す年度としたい。

役場の課等が表のように、4月から統合

問 統合の理由は何か。
答 職員が7人減になること、繁忙期に課内連携を強化できること、住民の相談や手続きが1課で

できることなどである。

役場の課等の統合

旧の課等の名称		新 名 称
旧の課等の名称		新 名 称
税務課+出納室	→	税務会計課
町民課+健康福祉課	→	町民健康課
高齢者支援課+健康福祉課	→	長寿福祉課
産業振興課+生活環境課+北部地域活性化推進室	→	産業環境課
教育総務課+生涯学習課	→	教育委員会事務局

問 町民健康課が総合案内になればよいと考えている。
答 主査を廃止し、副主幹を設置したが、給料や仕事の責任は。

問 副主幹とは、主幹(係長)を補佐する役目がある。係長が11人不足していた。主任が昇任すると6号給上がる。
問 女性の登用が多くなるか。
答 男女を問わず、主任で5年経過する職員が対象である。女性の活躍が期待される。

包括ケアセンターのデイサービス 休日も運営

ただし、5月3日から5日までは休館。

介護保険料が1カ月4100円だったものが、4000円に

問 町の高齢者の状況はどうか。
答 高齢化率は県下1位

施設の貸館を開始

施設の貸館等一覧	時間等	例：平日の金額	
		会議室等	料理実習室
名 称	時間等	会議室等	料理実習室
ふれあいセンター	午後	600円	700円
今宿コミセン	午後	300円	600円
保健センター	1時間	300円	500円
中央公民館	午後	400円	-
図 書 館	午後	600円	-

問 体操を活用した高齢者の通いの場の創設、ボランティアの養成による生活支援体制の整備などが必要に迫られている。
問 次期の重点事業は。
答 小規模多機能型居宅介護、デイサービス、訪問介護、シヨートステイを組み合わせた施設の整備と民間事業者によるリハビリ型デイサービスの参入を促進することだ。

医療と介護の連携の整備条例が5本

この法律の主な内容
利用料3割負担の導入。介護医療院等の創設。障がい者と高齢者を同一の施設になどの改正。



問 だが、前期高齢者は、地域づくりへの参加を希望または参加しても良いと考える人が3分の2もいることが分かった。
問 地域支援事業の充実を望むが、どのように考

平成29年度補正予算 こんな審議をしました

一般会計補正予算

- 問** 町民税法人割で、1850万円も追加した理由は。
- 答** 大幅な増額となった法人が6法人で2057万円、大幅に減額となった法人は1法人で171万円などを補正した。
- 問** 児童手当501万円の減額は。
- 答** 2月までの実績からの減額である。
- 問** 確約的な数字は押さえられないか。
- 答** 出生、転入や現況届、所得の増減などで差が出る。
- 問** 町営路線バスの運行経費の追加225万円は。
- 答** 当初は1460万円見込んだ運賃収入が219万円程度となるので、2回目の補正である。
- 問** 今後の見込みは。
- 答** 町外の方の利用があると考えられる。
- 問** 上熊井直売所の町道用地測量等の予算は、1840万円で、それを552万円も減額とは。
- 答** 対象の面積が少なく、分筆費用などが少なくなったことや入札結果による。
- 問** 泉井の集落センター建替え設計委託料で当初の予算は2000万円だが、1410万円の減額とは。



土地収用法で会社の建物と長屋門を撤去し、真っすくな1号線へ

平成30年度 特別会計予算を審議

国民健康保険

- 問** 入札による差額である。環境保全型農業直接支払い対策で、なぜ面積が減ったか。
- 答** 実質1人でやっている方の健康や、ほかの作付けに手間がかかった。
- 問** 自主防災組織育成事業で10万の予算が8万円も減額とは。
- 答** 訓練を実施したのは大橋地区だけで、その後の見込みがないため。

国民健康保険

- 問** 保険給付費で4352万円の減額は。
- 答** 5月以降の支払いが下回っていること、今後の分も一番高く見込んで減額した。

農業集落排水

- 問** 修繕料57万円の追加は。
- 答** 予算の91万円は、9月に中継ポンプ施設の異常を伝える通報装置の修繕に使ったので、予定の汚泥引き抜きポンプと工アリフトプロアの修繕の分を増額する。

介護保険

- 問** 国保税が前年より8672万円減額だが。
- 答** 被保険者の低所得化が多く、社会保険へ移行する人も多く国保の人数減が影響している。
- 問** 2方式になって納税のバランスが崩れているか。
- 答** 軽減割合を6割4割から7割5割2割と軽減を手厚くしたのでバランスはとれていると考える。

介護保険

- 問** 地域密着型介護サービスが前年比で624万円減額だが。
- 答** 社協のデイサービスを廃止し、利用者は大きな施設へ移動した。
- 問** 地域支援事業で減額があるか。
- 答** 紙おむつの実績や生活支援コーディネーター職員の時間外手当が減額になった。
- 問** 在宅介護支援センター



各地区で実施されている地域健康教室



- ター運営業務委託料250万円は。
- 答** 松寿園へ土日や夜間の相談、見回りなどの委託料である。
- 問** はあとふるパワーアップ体操教室講師報酬90万円は。
- 答** 1回1万円で90回、各地区、各大字でお願いしている。
- 問** 健康長寿の共同研究事業への負担金130万円は。
- 答** 東京都健康長寿医療センター研究所との共同研究事業の負担金である。

水道事業

- 問** 耐震型の水道管の埋設計画と進捗状況は。
- 答** 昨年度から老朽管の更新工事を、楓ヶ丘2丁目を2力所開始。18年間の計画である。
- 問** 耐震型の水道管の埋設計画と進捗状況は。
- 答** 昨年度から老朽管の更新工事を、楓ヶ丘2丁目を2力所開始。18年間の計画である。



NT楓ヶ丘2丁目の工事